

キーワード↓

街の活性化

路面電車の活用方策の検討が進む

8月には路線の在り方を含めた活用方針がまとまる予定



存続を決定(平成17年2月)

- ・市民の存続意向が強い
- ・人や環境に優しい
- ・民間活力の導入により収支改善の可能性を見込める
- ・都心のまちづくりに生かせる

さっぽろを元気にする路面電車検討会議(平成17年8月設置)

路面電車の基本的な考え方

交通機関からまちや市民を元気にする道具へ

「札幌が、よりにぎわいのある街として発展し続けるための手段や方策」として、路面電車を上手に使っていくこと

これまでに検討された内容

- ・路面電車をキーワードに沿線情報を発信し、地域を活性化する
- ・高齢者などに優しい低床車両や、街並みと調和した車両を導入する
- ・都心部において路面電車、駅・バスターミナルを結び、市民や観光客の移動を支える
- ・商店街・観光関係者などと市が協働し、路面電車の活用方策を考える

平成18年8月に活用方針を発表

市は平成19年3月に「路面電車事業化計画」を策定

昨年(平成17年)の二月、市民議論の末に存続が決定した路面電車。現在、将来的なまちづくりを見据えた活用方策について検討を重ねています。

続く八月には、学識者や市民団体の代表、札幌市などで構成する「さっぽろを元気にする路面電車検討会議」を設置。路面電車を単なる交通機関ではなく、「まちや市民を元気にする道具」と位置付け、その使い方の検討を進めています。現在、会議での議論を受けて、多くの人に沿線のまち歩きを楽しみ、歴史や文化に触れてもらう取り組みがス

スタートしています。

また、市では、より効率的な路面電車の運営の在り方を専門的に検討しています。

こうした一連の動きを踏まえつつ、今後の検討会議では、都心の活力を支える路線の在り方について議論を深め、八月に活用方針をまとめる予定です。

市では、観光・商業者などとの連携や関係機関との協議を重ねながら、市民意向の把握も行った上で、今年度中に事業化に向けた具体的な計画を固める方針です。

92 **詳細** 交通企画課 ☎(211) 24

平成18年度に始まる具体的な取り組み

沿線ぶらりまち歩きマップ

(市電の会・中央区役所編集)

中島公園・藻岩山地域などの沿線を数カ所に分けたマップ

主な電車停留場からのウォーキングコースを設定し、歴史・文化・自然などの情報を掲載します(7月発行予定)。

市電マップ

(交通局・交通事業振興公社編集)

市電沿線全体のマップ

主な観光・芸術文化施設、飲食店の情報などを掲載します(第1弾はゴールデンウィーク発行予定)。

連動

市電専用一日乗車券の発売

(土・日曜、祝日のみ。1枚で大人と子供各1人が1日乗り放題)



市による経営の在り方の検討

- ・民間活力の導入・収支の改善